

平成23年度 第3回CCCコミュニケーション関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 :平成23年11月15日(火) 19:00～21:00

II. 場所 :私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 :阿部委員 北根委員

(事務局)井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

(1) 学士力実現に求められる教育改善モデルのとりまとめについて

中間まとめに対するサイバーFD研究委員からの意見を検討し、反映、改定を行った。

コミュニケーション関係学教育における教育改善モデル（中間まとめ案1）

- ① 「1～2年次に対人コミュニケーションスキルをつける授業はとても重要である。」については、2.3ICTを用いた授業シナリオの①に反映し、「対面やインターネット上で対人関係における自らの体験からコミュニケーションを考えるための材料を掘り起こす。」に修正した。
- ② 「語句(ネット上、Web上、インターネット上)の統一がされていない。」については、「インターネット上、Web上」に修正し、統一した。

コミュニケーション関係学教育における教育改善モデル（中間まとめ案2）

- ① 「可能性と限界を認識するための具体的な授業内容が、もっと必要なのではないでしょうか。」については、2.3ICTを用いた授業シナリオの③をメディアを用いて具体化させ、「自分たちの生活の中にあるメディアを用いたコミュニケーションについてケーススタディを行う。例えば、国内外のニュース報道・映像メディア・インターネット上のコミュニケーション等の内容分析と異なるメディア間の比較分析等を通じて体験的に学習させる。」に修正した。
- ② 「語句(ネット上、Web上、インターネット上)の統一がされていない。」については、「インターネット上、Web上」に修正し、統一した。
- ③ 「2つの学問領域（コミュニケーション学とメディア学）を混同している。前者は文学・日本語・言語文化領域あるいは発達科学領域に属し、他方は文化情報学に属する。コミュニケーション学とコミュニケーション関係学との違いが不明確である。さらに、既存の学問領域を変えるというのなら、不都合があることを示すべきである。」については、明確にすべく、下記のとおり修正した。

・授業のねらいを「ここで提案する授業では、メディアの特性を理解した上で、メディアとメディアを用いたコミュニケーションの可能性と限界を認識しながら主体的に活用する能力を身に付けさせることを目指すこととした。」に修正した。

- ・2.3ICT を用いた授業シナリオの①を「メディアとメディアを用いたコミュニケーションの特性についてグループ学習を行う。」に修正した。
- ・2.4ICT を用いた学習内容・方法の①を「メディアの発達過程を踏まえて、現在又は将来予測されるメディア及びそのメディアの中で展開されるコミュニケーションの可能性と限界についてグループで整理させる。」に修正した。
- ・2.4ICT を用いた学習内容・方法の②を「コミュニケーションにおいてメディアをどういう場面でどのように使うことが適切なのか考えさせる。」に修正した。
- ・2.4ICT を用いた学習内容・方法の④を「ICT を用いた作品制作を通じて、効果的に情報を伝えるための技法やメディアの特徴、表現形式がコミュニケーションにどのように作用するのか等を体験的に学習させる。」に修正した。

以上、修正作業を行ったが、本日は時間の都合上ここまでとし、次回の委員会で継続して検討することとした。

V. 次回の開催日程

日時：メーリングリストにて調整

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室